

主催：公益社団法人日本建築家協会（JIA） 関東甲信越支部 城東地域会
アーキテツ・ガーデン 2013 建築祭

毎年、9月1日に墨田区横網の東京都慰霊堂では慰霊祭が開催されますが、今年は関東大震災から90年の節目の年にあたります。また、私たちは、東日本大震災を経験し、あらためて防災と復興への関心が高まりました。そのような背景のもと、本年9月に「首都防災ウィーク」が開催されます。慰霊堂を舞台として、広範なグループ、団体が連携して、さまざまなイベントが企画されます。人と人をつなぎ、互いに支えあう「ソフトな防災」について考えます。

関東大震災で約3万8千人もの犠牲者がでた旧陸軍被服廠跡地にその慰霊と復興を願って建設された東京都慰霊堂と復興記念館は、建築家伊東忠太の設計と言われています。その特異な造形と施設の用途からか、必ずしも親しみやすいとはいえない建築ですが、昨今の建築家伊東忠太への関心の高まり、再評価もあり、東京都慰霊堂、復興記念館と、そこに納められた多くの資料から、復興の在り方をテーマにシンポジウムと建築見学会を開催します。

（※参加希望者は下記の申込先へお申込下さい。）

◆ 第1回 「建築家伊東忠太が東京都慰霊堂に遺したもの」

○日時 : 2013年6月29日（土）13:00から16:30

（見学会13:00から14:15 シンポジウム14:30から16:30）

○会場 : 見学会 東京都慰霊堂南側室入口（集合）（大江戸線 両国駅 徒歩3分）
: シンポジウム 東京都慰霊堂南側室

○プログラム：見学会 （東京都慰霊堂、復興記念館、ほか）
: シンポジウム

基調講演・パネリスト：村松 伸（工学博士 総合地球環境学研究所教授・東京大学教授）

パネリスト：高野宏康（歴史民俗資料学博士 復興記念館調査研究員）

◆ 第2回 「関東大震災復興から学ぶまちづくり」

○日時 : 2013年9月8日（日）10:00から12:00

○会場 : 東京都慰霊堂南側室（大江戸線 両国駅 徒歩3分）

○プログラム：シンポジウム

基調講演・パネリスト：米山 勇（工学博士 江戸東京博物館都市歴史研究室研究員）

パネリスト：岡本哲志（工学博士 法政大学教授）

申込先：岸総合計画研究所

TEL : 03-3942-1340

FAX : 03-3942-9454

MAIL : kishima@rio.odn.ne.jp